

グラフ読解のツボ

新聞やテレビなどのニュース、役所や企業のウェブサイト、本、雑誌……。グラフはさまざまな場面で使われています。「データを目で見て分かりやすく表現する」のに適しているからです。丁寧に読み取って、正確な情報を手に入れましょう。このページで紹介するポイントは、レポートやプレゼンテーションなどのためにグラフを作るのにも役立ちます。

グラフのココに注目しよう！

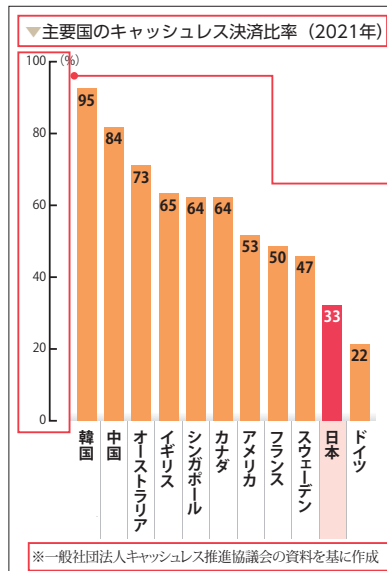
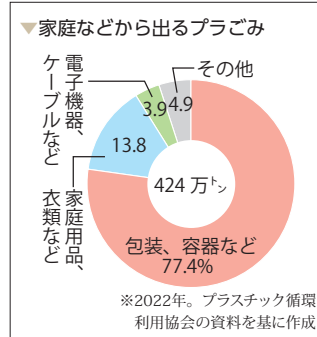
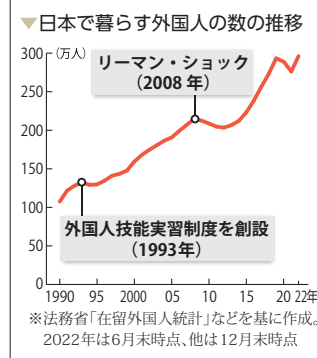
グラフには多くの種類があり、それぞれに特徴があります。また、グラフを構成する要素には重要な役割があります。これらを押さえて、グラフをきちんと読み取りましょう。

種類

グラフの種類として、代表的な三つを紹介します。それぞれ「得意なこと」があり、「基になっているデータの性質」や「作り手が伝えたい情報」によって使い分けられます。

棒グラフ	棒の高さで項目ごとのデータを示し、その大小を比べるのに適しています。データの推移（時間に伴う変化）を示すために使われることも多いです
折れ線グラフ	項目ごとのデータを直線で結び、折れ曲がった線で主にデータの推移を示します。データの増加・減少傾向を示すのに適しています
円グラフ	円を用いて、データ量全体のうち各項目がどのくらいの割合を占めているかを示します。各項目の合計は100%になります（四捨五入のため100%にならない場合もあります）。データの推移を示すのには不向きです

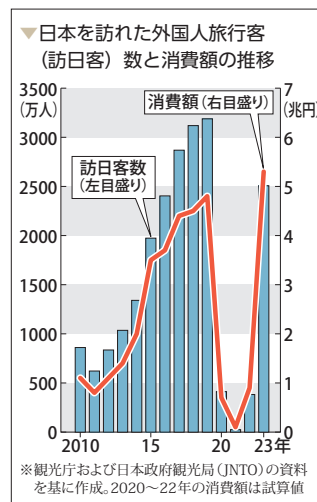
全ての数値を一つ一つ見るというよりは、特徴的な部分（最大値、最小値、増加・減少傾向）に着目して読み取ることがポイントだよ。



タイトル
「何についてのグラフか」を一言で示しています。

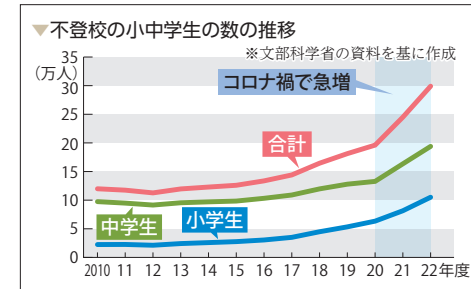
軸
目盛りや単位が示されています。右のグラフのように左右両側に軸がある場合は、「どちらの軸を見るべきなのか」にも注意しましょう。

注釈
「どのデータに基づいてグラフを作ったのか」を示しています。グラフを読み取るうえでの注意事項が書かれている場合もあります。



こんなグラフに注意しよう！

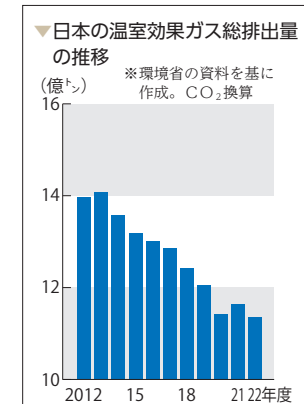
ひつじちゃんがグラフを読み取っています。その分析は正しいでしょうか？ 気をつけるべき点を確認しましょう。



ここ10年ほどは増え続けているから、今後も右肩上がりのかな？

これまで増え続けているからといって、その傾向が今後も続くとは限らないよ。「これまでの実績」と「今後の予測」が一緒に示されているグラフもあるけれど、色分けされていたり、注釈に書かれていたりするのが基本だよ。

「これまでの実績」と「今後の予測」を区別する

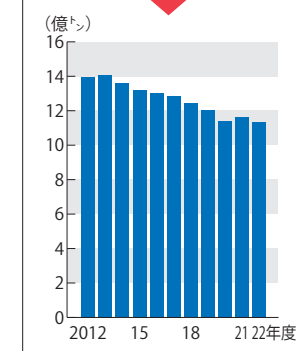


2013年から2021年の8年間で半減したのかな？



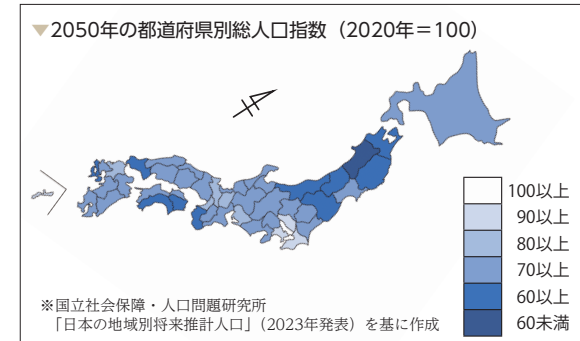
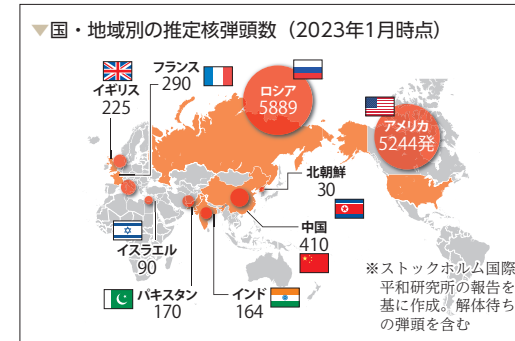
縦軸の最小値が10億トだから、半減したように見えるだけだよ。縦軸の最小値を0にすると下のグラフの通り。「縦軸の最小値=0」とは限らないし、波線を使って途中が省略されている場合もあるんだ。

軸の取り方によって見た目が変わる



地図上で示されたデータを読み解こう！

「データを目で見て分かりやすく表現する」ために地図が使われる場合もあります。表やグラフよりも、データの傾向を地理的な特徴と結びつけて示すのに適しているからです。



例えば左の地図からは「日本の周辺には、核弾頭を持っている国・地域が複数ある」、右の地図からは「人口の減り方は、東北地方や四国地方で大きいと予測される」、ということが一目で分かるね。

地図の向きは原則「上が北」だけど、そうじゃない場合もあるよ。方位記号を確認しよう。

